



2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月7日

上場会社名 ザ・パック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3950 URL http://www.thepack.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)稲田 光男
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役コーポレート本部長 (氏名)藤井 道久 (TEL)06(4967)1221
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 2019年9月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	44,284	5.3	2,595	△3.7	2,754	△3.7	1,804	△6.4
2018年12月期第2四半期	42,054	0.8	2,695	△11.7	2,858	△11.1	1,927	△8.5

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 1,664百万円(△5.7%) 2018年12月期第2四半期 1,765百万円(△26.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	92 41	92 27
2018年12月期第2四半期	98 22	98 11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	82,327	55,893	67.7
2018年12月期	86,495	56,775	65.5

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 55,748百万円 2018年12月期 56,613百万円

※第1四半期連結会計期間の期首から「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等の適用による表示方法の変更を行いましたため、2018年12月期の連結財政状態は、当該変更を反映した遡及修正後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	25 00	—	25 00	50 00
2019年12月期	—	25 00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	25 00	50 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日~2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,800	2.9	7,300	5.4	7,600	5.4	5,000	0.6	254 82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期2Q	19,900,000株	2018年12月期	19,900,000株
② 期末自己株式数	2019年12月期2Q	925,308株	2018年12月期	278,548株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期2Q	19,529,486株	2018年12月期2Q	19,620,748株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想等の将来に関する記述は、業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定及び本日現在における入手可能な情報を前提としており、実際の業績等は様々な要因で大きく異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関しましては、【添付資料】P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年12月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益が堅調に推移し、雇用環境の改善を背景に全体の景況感も底堅く推移しました。しかし、物流費や原材料価格の高騰によるコストの増加も継続している状況です。

海外では、米国経済は堅調に推移しましたが、米中の貿易摩擦は長期化の様相を呈しており、世界経済への影響が懸念され、未だ先行きは不透明な状況です。

このような状況の中、当社は「変化を仕掛け 新たな挑戦」をスローガンに掲げ、グループ全社が結束して新たな市場開拓、積極的な設備投資、品質管理の改善など業績の向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は442億84百万円（前年同期比5.3%増加）、営業利益は25億95百万円（前年同期比3.7%減少）、経常利益は27億54百万円（前年同期比3.7%減少）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億4百万円（前年同期比6.4%減少）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

(紙加工品事業)

当第2四半期連結売上高の63.3%を占めるこの部門では、紙袋（対連結売上高構成比30.8%）は、国内専門店向けの販売が堅調に推移したことや、ザ・パックアメリカコーポレーションと特百嘉包装品貿易（上海）有限公司の売上も好調に推移した結果、同上売上高は136億27百万円（前年同期比3.8%増加）となりました。

紙器（同上構成比18.8%）は、食品用パッケージの販売が好調に推移したことや、昨年4月に取得したカンナル印刷株式会社の業績が加わったことにより、同上売上高は83億8百万円（前年同期比14.2%増加）となりました。

段ボール（同上構成比11.4%）は、eコマース市場向けの販売が堅調で、同上売上高は50億49百万円（前年同期比2.3%増加）となりました。

印刷（同上構成比2.3%）は、株式会社京浜特殊印刷と日幸印刷株式会社の販売が好調に推移し、同上売上高は10億39百万円（前年同期比6.4%増加）となりました。

以上により、この部門の売上高は280億25百万円（前年同期比6.5%増加）となりましたが、物流費や原材料価格の高騰により、営業利益は20億28百万円（前年同期比3.0%減少）となりました。

(化成品事業)

当第2四半期連結売上高の20.7%を占めるこの部門では、紙おむつ用製品の販売が好調に推移したことや、ザ・パックアメリカコーポレーションの売上も好調に推移し、同部門の売上高は91億85百万円（前年同期比3.6%増加）となり、営業利益は4億10百万円（前年同期比12.9%増加）となりました。

(その他)

当第2四半期連結売上高の16.0%を占めるこの部門では、カンナル印刷株式会社の販促品の売上が加算され、同部門の売上高は70億73百万円（前年同期比3.0%増加）となりましたが、営業利益は5億85百万円（前年同期比5.3%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ41億67百万円減少し、823億27百万円となりました。これは主に「現金及び預金」27億54百万円の増加、「受取手形及び売掛金」58億65百万円・「投資有価証券」10億61百万円の減少によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ32億84百万円減少し、264億34百万円となりました。これは主に「支払手形及び買掛金」29億34百万円・「電子記録債務」4億12百万円の減少によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ8億82百万円減少し、558億93百万円となりました。これは主に「利益剰余金」13億14百万円の増加、「自己株式」20億41百万円の取得等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前第2四半期連結累計期間に比べて6億65百万円(3.4%)増加し、201億36百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上が26億58百万円となり、仕入債務の減少33億36百万円等があった一方、売上債権の減少58億42百万円等により47億75百万円の収入(前第2四半期連結累計期間は50億円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の売却による収入20億円等があった一方、有価証券の取得による支出25億円、投資有価証券の取得による支出1億14百万円等により10億14百万円の支出(前第2四半期連結累計期間は31億71百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出20億49百万円、配当金の支払額4億90百万円等により27億90百万円の支出(前第2四半期連結累計期間は15億72百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年2月8日に公表しました内容から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,257	15,011
受取手形及び売掛金	24,589	18,724
有価証券	9,499	9,699
商品及び製品	5,547	5,686
仕掛品	835	948
原材料及び貯蔵品	847	880
その他	912	580
貸倒引当金	△33	△28
流動資産合計	54,455	51,502
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,006	6,704
機械装置及び運搬具（純額）	5,125	5,150
工具、器具及び備品（純額）	185	183
土地	8,397	8,397
建設仮勘定	31	109
有形固定資産合計	20,746	20,546
無形固定資産	162	183
投資その他の資産		
投資有価証券	9,441	8,379
繰延税金資産	876	913
その他	871	868
貸倒引当金	△58	△65
投資その他の資産合計	11,130	10,096
固定資産合計	32,039	30,825
資産合計	86,495	82,327

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,119	12,185
電子記録債務	5,645	5,232
短期借入金	66	31
1年内返済予定の長期借入金	84	21
未払法人税等	1,138	935
賞与引当金	280	310
役員賞与引当金	42	20
その他	2,758	3,408
流動負債合計	25,136	22,146
固定負債		
長期借入金	163	51
繰延税金負債	483	466
退職給付に係る負債	3,795	3,647
その他	140	123
固定負債合計	4,582	4,287
負債合計	29,719	26,434
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,553	2,553
資本剰余金	3,166	3,165
利益剰余金	50,871	52,185
自己株式	△723	△2,764
株主資本合計	55,867	55,139
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,282	1,167
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△249	△295
退職給付に係る調整累計額	△287	△262
その他の包括利益累計額合計	745	609
新株予約権	81	93
非支配株主持分	81	50
純資産合計	56,775	55,893
負債純資産合計	86,495	82,327

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	42,054	44,284
売上原価	32,034	33,767
売上総利益	10,019	10,516
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	2,031	2,271
給料及び手当	1,913	1,992
役員報酬	263	257
貸倒引当金繰入額	△8	4
賞与引当金繰入額	137	143
役員賞与引当金繰入額	20	19
退職給付費用	194	141
減価償却費	190	182
賃借料	1,164	1,359
その他	1,418	1,548
販売費及び一般管理費合計	7,324	7,920
営業利益	2,695	2,595
営業外収益		
受取利息	40	54
受取配当金	50	51
受取賃貸料	28	27
為替差益	33	24
その他	25	19
営業外収益合計	178	176
営業外費用		
支払利息	5	2
賃貸収入原価	5	4
売上割引	2	2
その他	1	8
営業外費用合計	15	18
経常利益	2,858	2,754
特別利益		
固定資産売却益	-	0
受取保険金	-	83
負ののれん発生益	54	-
特別利益合計	54	84
特別損失		
固定資産除却損	47	12
固定資産売却損	8	3
減損損失	-	164
特別損失合計	55	179
税金等調整前四半期純利益	2,858	2,658
法人税、住民税及び事業税	891	869
法人税等調整額	44	△15
法人税等合計	935	854
四半期純利益	1,922	1,804
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,927	1,804

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,922	1,804
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△151	△117
繰延ヘッジ損益	△4	△0
為替換算調整勘定	△45	△46
退職給付に係る調整額	44	25
その他の包括利益合計	△156	△139
四半期包括利益	1,765	1,664
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,770	1,668
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	△3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,858	2,658
減価償却費	837	821
減損損失	-	164
負ののれん発生益	△54	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△56	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△36	29
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△22	△21
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△88	△110
受取利息及び受取配当金	△91	△105
支払利息	5	2
固定資産売却損益(△は益)	8	2
固定資産除却損	47	12
売上債権の増減額(△は増加)	6,231	5,842
たな卸資産の増減額(△は増加)	△391	△289
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,450	△3,336
その他	331	62
小計	6,128	5,733
利息及び配当金の受取額	105	104
利息の支払額	△5	△2
法人税等の支払額	△1,227	△1,060
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,000	4,775
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△69	△66
定期預金の払戻による収入	68	66
有価証券の取得による支出	△1,300	△2,500
有価証券の売却による収入	2,900	2,000
貸付金の回収による収入	8	8
有形固定資産の取得による支出	△613	△389
有形固定資産の売却による収入	3	0
無形固定資産の取得による支出	△2	△43
投資有価証券の取得による支出	△4,090	△114
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△28	-
敷金及び保証金の差入による支出	△84	△13
その他	36	38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,171	△1,014
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	△66
長期借入金の返済による支出	△672	△144
社債の償還による支出	△398	-
配当金の支払額	△490	△490
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△28
自己株式の取得による支出	△0	△2,049
その他	△10	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,572	△2,790
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	△16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	242	955
現金及び現金同等物の期首残高	19,228	19,181
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,471	20,136

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月8日開催の取締役会決議に基づき、公開買付けの方法により自己株式650,000株の取得を行っております。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が2,049百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が2,764百万円となっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。